



第40回全国都市緑化仙台フェア

未来の杜せんだい2023に行ってきました



国土交通省主催の全国都市緑化フェアが4月26日から6月18日までの54日間、仙台市で開催されています。このイベントは昭和58年度の第1回グリーングロー大阪を皮切りに全国で開催されており、昨年のガーデンフェスタ北海道2022に次いで、今年は第40回目となります。

仙台での開催は、平成元年に七北田公園を会場として行われ以来34年ぶりの開催とのこと。

「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」をテーマに、100年先のみどり豊かな杜の都を育むため、そしてみどりと親しむライフスタイルの発見と人の交流があふれるまちづくりに並び、復興からその先へみどりを未来へつなげることを基本理念にした仙台市を挙げての開催です。

メイン会場の青葉山エリアは、仙台市のみどりや水、歴史や文化を象徴するエリアとして整備され、ほかにも東部エリア、まちなかエリア、連携会場な仙台市近郊までを含む会場が準備されていますので、是非足を運んでみることをお勧めし、ここに紹介します。



会場には七夕を花々で描く大花壇「はなばた飾り」を中心に植栽され、色とりどりの花が咲き乱れ

ていますが、ほかにも庭園づくりのコンテスト参加作品や、植木職の方々が「植木市」も出店しており、相談に応じていただきながら購入もできます。

広大な面積の青葉山公園追廻地区会場は入場無料なこともあり、ペット連れや恋人同士かなと思ふ二人連れ、乳幼児も連れだご家族などでにぎわっていました。

この会場を一望できる青葉城跡には、昨年3月の地震で破損し修理のため撤去されていた政宗公騎馬像が修復されて元にもどったので、像の前で伊達武将隊との撮影会も人気でした。

この期間は仙台市博物館が改修工事のため、収蔵品を宮城県美術館で特別展(4月26日～6月18日)を開催していますので、伊達政宗の所用した具足や自筆の書状、国宝慶長遣欧使節関係資料や仙台の古絵図も展示されています。

また、仙台文学館ではいわさきちひろの世界展(4月20日～6月11日)が開催されていますのでお立ち寄りされることもおすすめします。

喜多見記